

報道関係者各位



未来の都市の木造・木質化を目指して 「都市木造開発推進室」を新設

三菱地所ホーム株式会社（本社：東京都新宿区新宿 社長 加藤 博文）は、未来の都市の木造・木質化を目指して、中大規模木造建築物の開発・普及に向けた取り組みを加速するべく、2022年12月1日付で「都市木造開発推進室」を新設しました。

■ 背景・目的

SDG's の浸透や鋼材等の資材高騰、ウッドショックに加え円安による輸入材価格上昇の中、法改正を含む政府の様々な施策の効果もあり、国産材を用いた中大規模建築物の木造化・木質化が加速し始めています。三菱地所ホームは設立以来 38 年にわたり、木造住宅メーカーとして木造建築の技術を蓄積してきました。また三菱地所グループでは、当社とともに木材供給を続ける三菱地所住宅加工センターのほか、2022年6月には鹿児島県湧水町で MEC Industry 株式会社の CLT（Cross Laminated Timber）製造を始め、製材・製造・加工まで一貫して担う工場も稼働し、木造インフラを拡充しています。これらの経験・技術・経営資源を活かし、グループシナジーを発揮しながら、三菱地所グループにおける中大規模木造建築物の普及の中核的な役割を果たし、未来の都市の木造・木質化に向けた取り組みを一層強化するべく、当社経営戦略部門に「都市木造開発推進室」を新設します。

「都市木造開発推進室」の具体的な役割は以下の通りです。

- ① 中大規模木造建築物（混構造建築物含む）の企画、意匠設計、構造設計、ソリューション提案等
- ② 中高層木造建築物の新構法開発を含めた研究・技術開発
- ③ 三菱地所グループにおける木造木質化戦略の活動
- ④ 中大規模木造建築物に関連する社外との協業・情報交換
- ⑤ その他中大規模建築物の木造化・木質化の普及促進に関する活動



三菱地所ホームの中大規模木造建築実例（足立区江北）
木密地域の改善に向けた東京都有地活用による移転先整備事業（来春竣工）



左記同実例
屋外交流スペース（パース）

■ 三菱地所グループの木造木質化事業

三菱地所グループの「Sustainable Development Goals 2030」の重要テーマ「Environment」においては「持続可能な木材利用の推進」を目標に掲げ、国産材・認証材の活用を進める一環として、MEC Industry の生産ラインにおいて、鹿児島県・宮崎県・熊本県産の地元木材を使用・供給しています。こうした取り組みを促進するとともに、都市の木造・木質化、中高層木造建築の開発・普及に向け、一貫した供給体制の整備と三菱地所グループとして機能強化を進めるため、企画・開発・設計・部材の製造供給・施工・竣工後の運営管理のライフサイクル全体に関わるグループ 6 社（三菱地所、三菱地所レジデンス、三菱地所設計、三菱地所ホーム、三菱地所住宅加工センター、MEC Industry）が連携し、木造木質建築に必要な「構造設計・施工図」、「材供給・加工」、「施工・建方工事」をワンパッケージで提供できる体制を構築していきます。



MEC Industry 鹿児島湧水工場



三菱地所住宅加工センターの建築実例
2×4 工法を取り入れた木造大型商業ビル



三菱地所グループの高層木造建築実例
ザ ロイヤルパークホテル キャンパス 札幌大通公園
(設計監理：三菱地所設計)



左記同実例
国内初の高層木造ハイブリッドホテルの断面図

■ 新組織の設立年月日 2022年12月1日

以上

〈本件に関するお問い合わせ先〉

三菱地所ホーム株式会社 経営企画部 広報戦略グループ TEL：03-6774-2795

※本資料の配布先：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、林野庁林政クラブ、環境問題研究会、環境記者会